

マウス脂肪組織タンパク質の分離

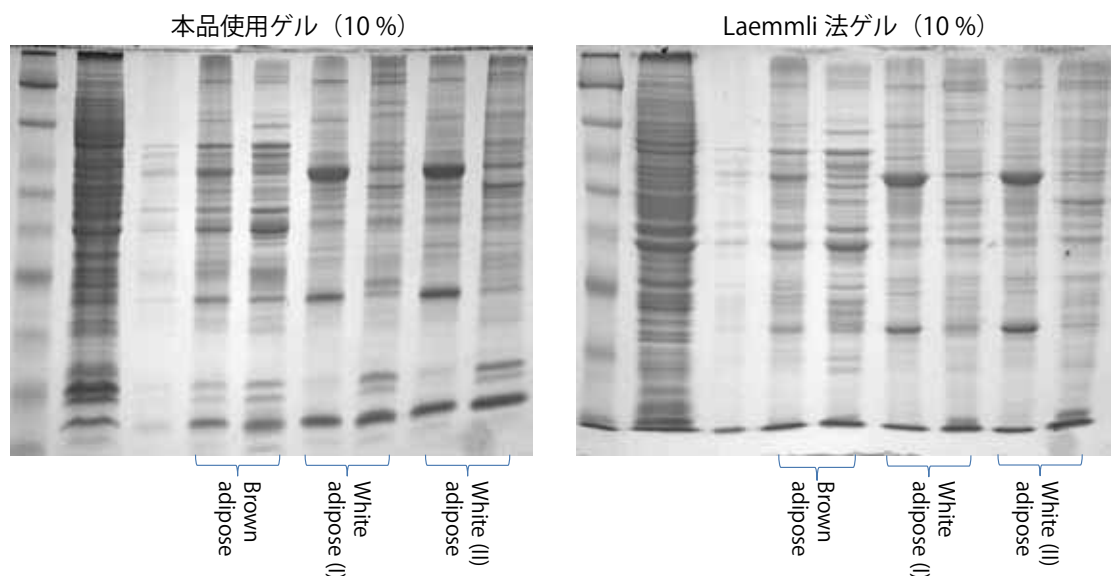
データご提供：京都大学 農学研究科 食品生物科学専攻 食品分子機能学分野
高橋 信之 助教

実験概要

幅広い分子量領域帯を一つのゲル上で分離するのにグラジエントゲルを使用するが、グラジエントゲルの作製は煩雑であり、一方プレキャストグラジエントゲルは高価である。そこで均一ゲルでもグラジエント様の分離効果が得られる WIDE RANGE ゲル調製用緩衝液を使用し、従来の均一ゲルと比較した。

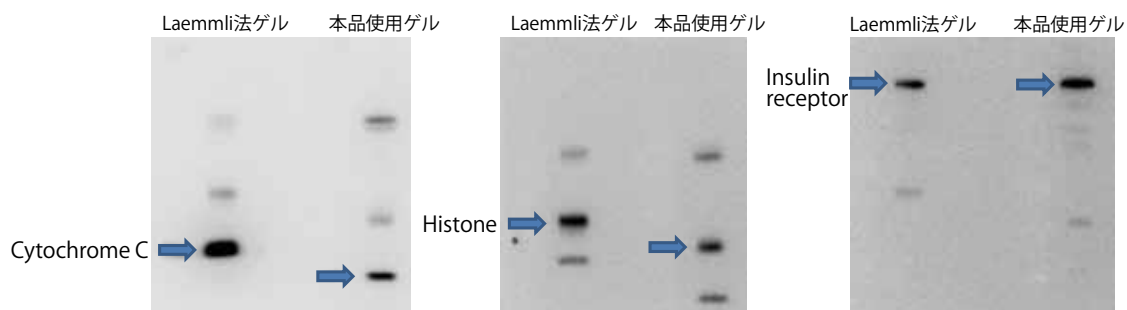
実験結果

■ SDS-PAGE



サンプル： マウス脂肪組織抽出物
SDS-PAGE： 10 % Acrylamide
染色： CBB 染色

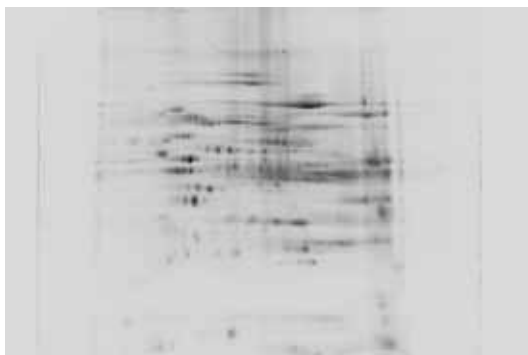
■ ウェスタンブロッティング



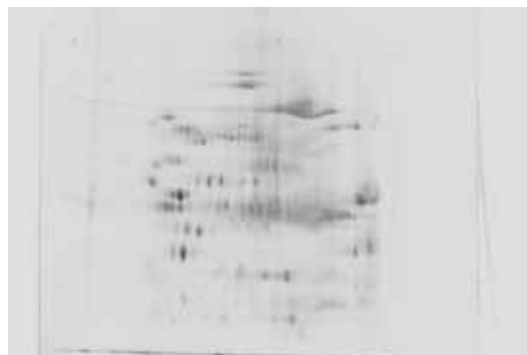
サンプル： マウス脂肪組織抽出物
SDS-PAGE： 10 % Acrylamide

■二次元電気泳動

本品使用ゲル (9%)



Laemmli 法ゲル (9%)



サンプル： マウス脂肪組織抽出物
等電点電気泳動： pH3-11 NL
SDS-PAGE： 9% Acrylamide
染色： CBB 染色

使用者の評価

均一ゲル作製と同作業で容易にグラジエント様の効果が得られ、SDS-PAGE、ウエスタンブロッティングにおいて良好な結果が得られ、二次元電気泳動においては切出しが容易に実施できた。また、ゲル強度も強くて扱いやすかった。

ご注意 試験・研究用以外には使用しないでください。

※記載の内容は、'11年12月現在の情報に基づいております。
※価格に消費税は含まれておりません。

ナカライテスク株式会社

〒604-0855 京都市中京区二条通烏丸西入東玉屋町498

Web site

<http://www.nacalai.co.jp>

価格・納期のご照会

試薬はここに
0120-489-552

製品に関する技術的なご照会

E-mail: info-tech@nacalai.co.jp

TEL:075-211-2703 FAX:075-211-2673

■販売取扱店